

実践報告資料

研究テーマ 『 誰もが自分らしく、互いに励まし支え合う力の育成
～ 性の多様性について正しく知る授業づくり ～ 』

研究内容 【 (1)、(2)、(3)、(4) 】

学校名 (宍粟市立一宮北小学校)

ア 人権教育としてのねらい

自他の違いを認め、個性を尊重するとともに、誰もが自分らしく、互いに励まし支え合う人間関係を築こうとする態度を育てる。

イ 研究の概要

全ての児童生徒が性自認や性的指向などの性の多様性について正しく理解し、自己理解・他者理解に努めながら、自尊感情を高める取組を行う。さらに、自分の考えや意見を積極的に表現するとともに、相手の立場に立って考え、互いに共感的に理解し合う心をもって、誰もが自分らしく、互いに励まし合うことのできる集団づくり・授業づくりを行う。

領域	教科	道徳 (特別の教科 道徳)	特別活動	総合的な学習の時間
指導者	4年担任 ゲストティーチャー	6年担任 2年担任	1年担任 3年担任	5年担任 ゲストティーチャー
実施日	2月16日	11月18日 2月1日	7月14日 1月31日	2月1日
取組名	性について悩みをもつ人がいることを知る	誰もが自分らしく生きるには女の子なら、男の子なら	自分の好きなものを伝えよう 職業についてどう思う?	みんなのあんしんプロジェクト
目標	性自認や性的指向について知り、性について悩みをもつ人がいることが分かる。	性についての偏った見方や考え方の誤りに気づき、偏見をなくすため、自分なりに行動しようとする態度を育てる。 性別にとらわれずに様々な個性に気付くことで、互いを認め合い、自分と異なる意見も大切にすることを育てる。	個性を表現でき、お互いを認め合おうとする態度を育てる。 職業には男女の区別の必要がないものが多いことを知り、将来の職業に希望や目標をもって生きる態度を育てる。	障がいのある人や、性で悩んでいる人の思いについて学び、誰もが安心して過ごす人づくりや町づくりのためのアイデアを発信する活動を通して、必要な資質・能力を身に付けさせる。
資料名	「心の健康」 (みんなの保健)	「私らしく生きたいな」 (自作資料) 「どうしてだろう」 『ほほえみ』(県教育委員会)	/	/
指導内容や指導方法の工夫等	保健体育の教科書 p33 の発展コーナーで紹介してある2つの悩みについて考える活動を通して、多様な性の在り方を知り、性について悩みをもつ人がいることに気付かせる。ゲストティーチャーから「からだの性とこころの性が違う」ということについて説明してもらう。	異なる考えのうち、より良いものを選択できるよう、ピラミッドチャートを使って話し合わせる。 終末に教材の男の子や女の子にどういふ声かけをするかワークシートに記入させることで実践的な力を身に付けさせる。	児童がスムーズに作業できるように好きな服やキャラクターのシールを準備する。友だちの心が温かくなるような言葉を考える。 2つの挿絵から職業を予想させ、自分の中にある職業における性差について気付かせる。また、事例を挙げて、性別による固定概念や先入観があることに気付かせる。	ゲストティーチャーから、最初に4つの性について説明してもらい、性に悩みをもつ人が生きづらく感じる場面を考える活動をする。終末にゲストティーチャーから授業の感想を話してもらい、活動の価値付けをする。